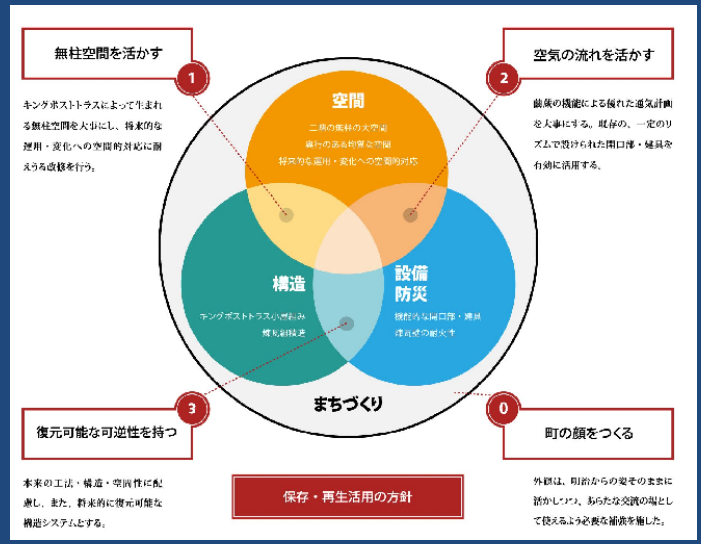
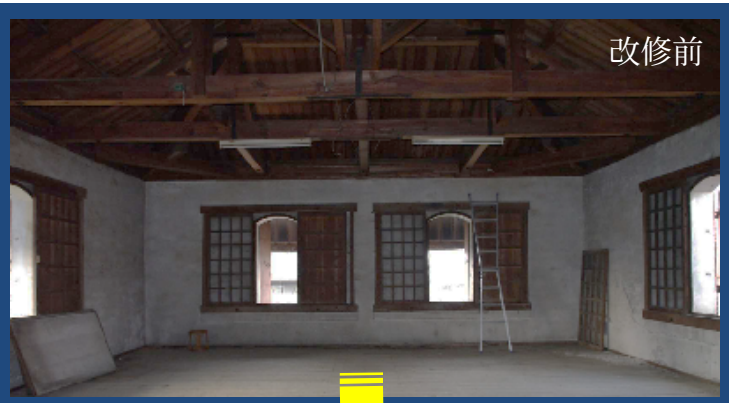
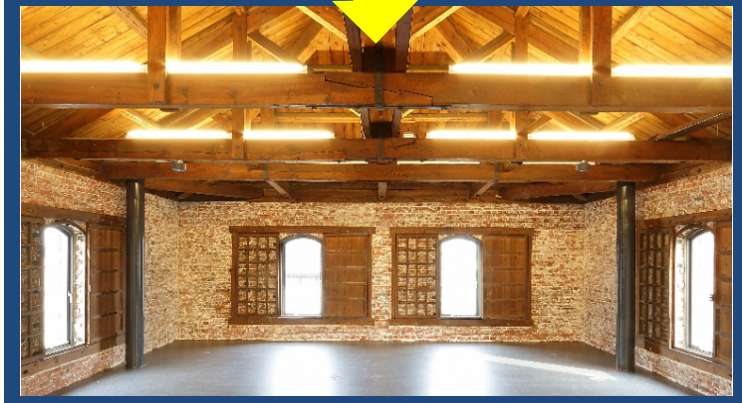
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫

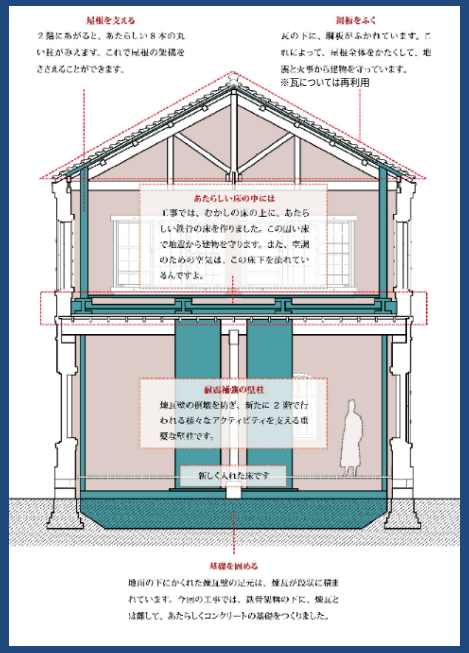
本庄商業銀行煉瓦倉庫は明治２９(1896)年に建てられました。もともと、銀行が担保として預かった繭を保管するための倉庫でした。その後、洋菓子店などに利用されながら、現在まで１２０年もの間、本庄のまちを見守ってきました。そして、平成２４(2012)年から調査研究を始め、建物が持つ本来の機能を活かした修理を行いました。

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、湿度調整ができる建具や、2階の無柱の大空間など、さまざまな技術が施された建物です。明治のそうした技術を設計に活かすために、保存再生活用の方針を定めました。









平成27年(2015)年から2年間かけて修理補強工事を行いました。明治時代の構造を尊重した上で、新たに鉄骨による補強を行いました。今回新たに付け加えた補強は、将来的に取り外して、元の姿に戻すことができる構造になっています。

改修後の構造システムの概要図

■所在地：埼玉県本庄市銀座1-5-16　■主用途：展示場　■地域・地区：近隣商業地域、法22条区域　■建蔽率：33.70%（80%）　■容積率：59.59%（200%）　■駐車台数：14台　■敷地面積1193.70m²　■構造：鉄骨造（既存：レンガ組積造・木造）　■発注・運営：本庄市　■調査研究：早稲田大学　■設計・監理者：福島加津也+冨永祥子建築設計事務所　■施工者：清水建設　■調査研究期間：2012年～2015年　■設計期間：2013年8月～14年2月　■施工期間：2015年4月～17年2月　■開業日：2017年4月1日